

2023年9月期

第2四半期決算説明資料

東証スタンダード・名証メイン上場 証券コード：1438

株式会社 岐阜造園

Gifu Landscape Architect Co., Ltd.



- ① 2023年9月期 第2四半期業績
- ② 主な取り組み と 今後の戦略
- ③ 株主還元

- ① 2023年9月期 第2四半期業績
- ② 主な取り組み と 今後の戦略
- ③ 株主還元

単位：百万円

	2022年9月期 (2Q)	2023年9月期 (2Q)		
	実績	予想値	実績	予実比
売上高	2,613	2,503	2,553	+2.0%
売上総利益	752	723	729	+0.8%
営業利益 (営業利益率)	302 (11.6%)	216 (8.6%)	252 (9.8%)	+16.6%
四半期純利益 (四半期純利益率)	192 (7.3%)	146 (5.8%)	169 (6.6%)	+15.7%
一株あたり 四半期純利益	60.06円	47.75(円)	52.95(円)	+5.20円

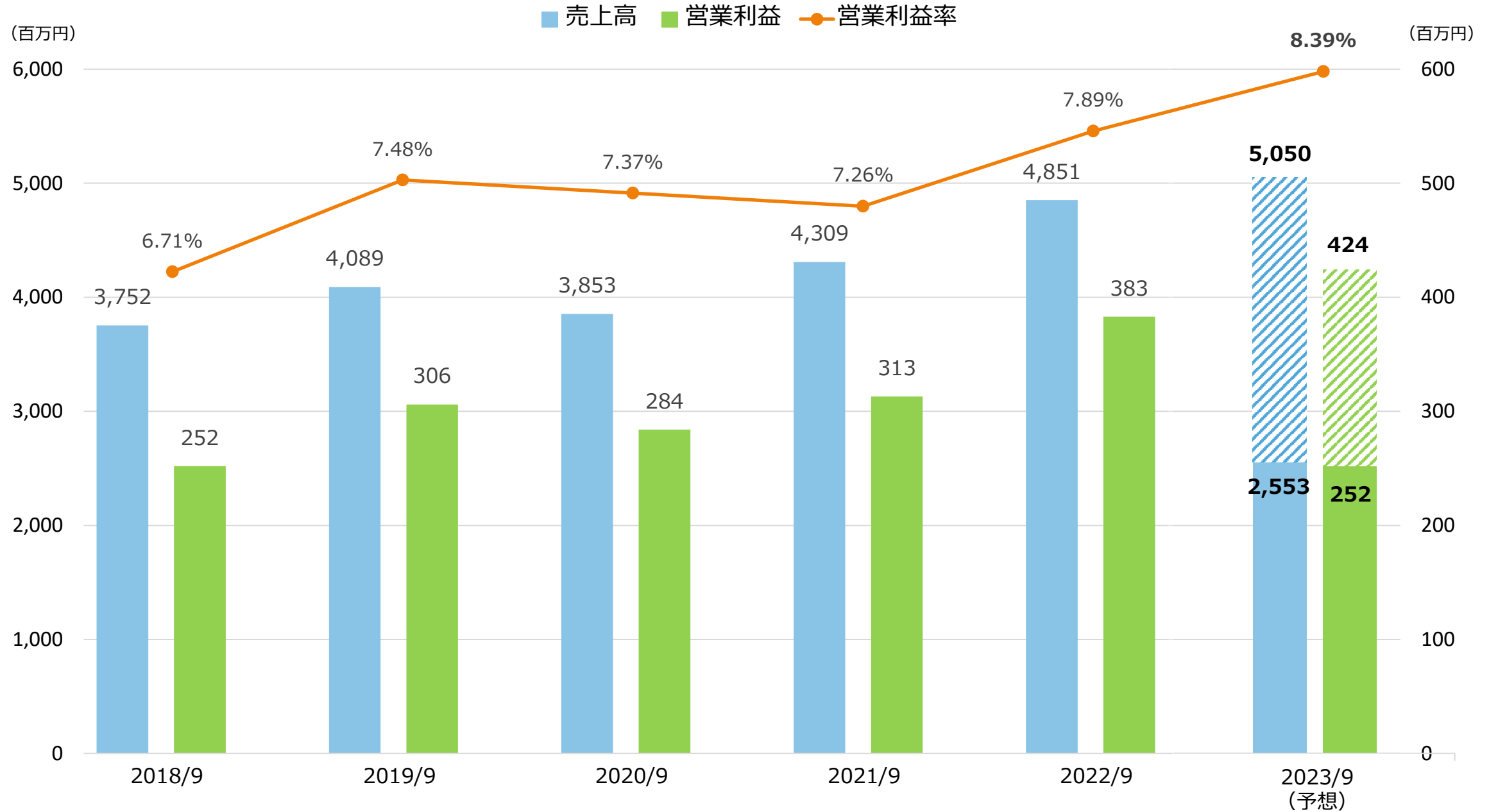
2023年9月期 業績予想

単位：百万円

	2022年 9月期	2023年 9月期 (予想)	前年比
売上高	4,851	5,050	+4.1%
営業利益 (営業利益率)	378 (7.8%)	424 (8.4%)	+10.5%
経常利益 (経常利益率)	369 (7.6%)	429 (8.5%)	+16.0%
当期純利益 (当期純利益率)	247 (5.1%)	287 (5.7%)	+16.3%
一株あたり 当期純利益	77円13銭	89円71銭	+12円58銭
自己資本利益率	7.8%	8.4%	---

連結業績推移

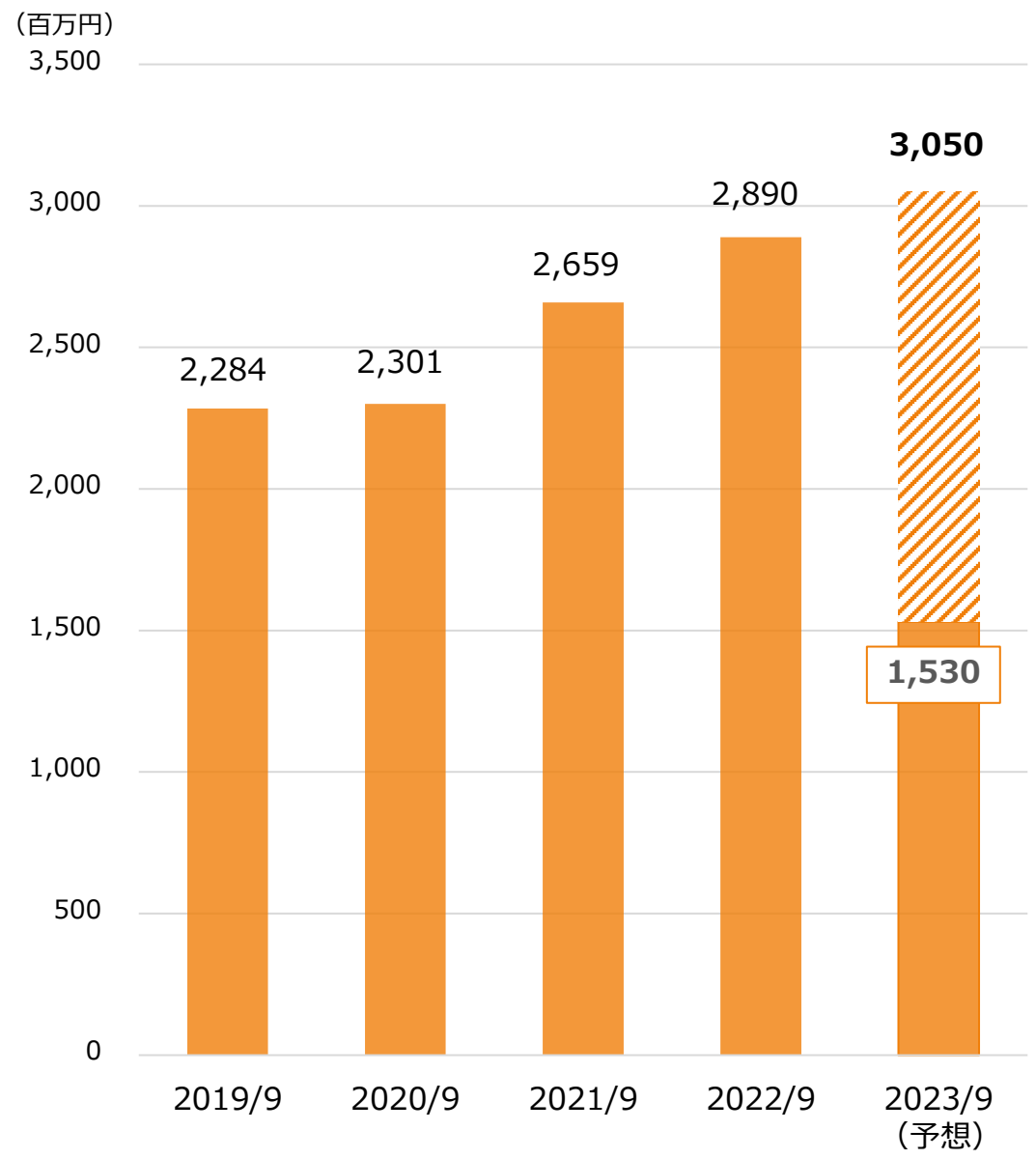
「原価管理の徹底」と「意匠性が高く利益率の高い案件」を選別受注し、利益率向上を図っています。



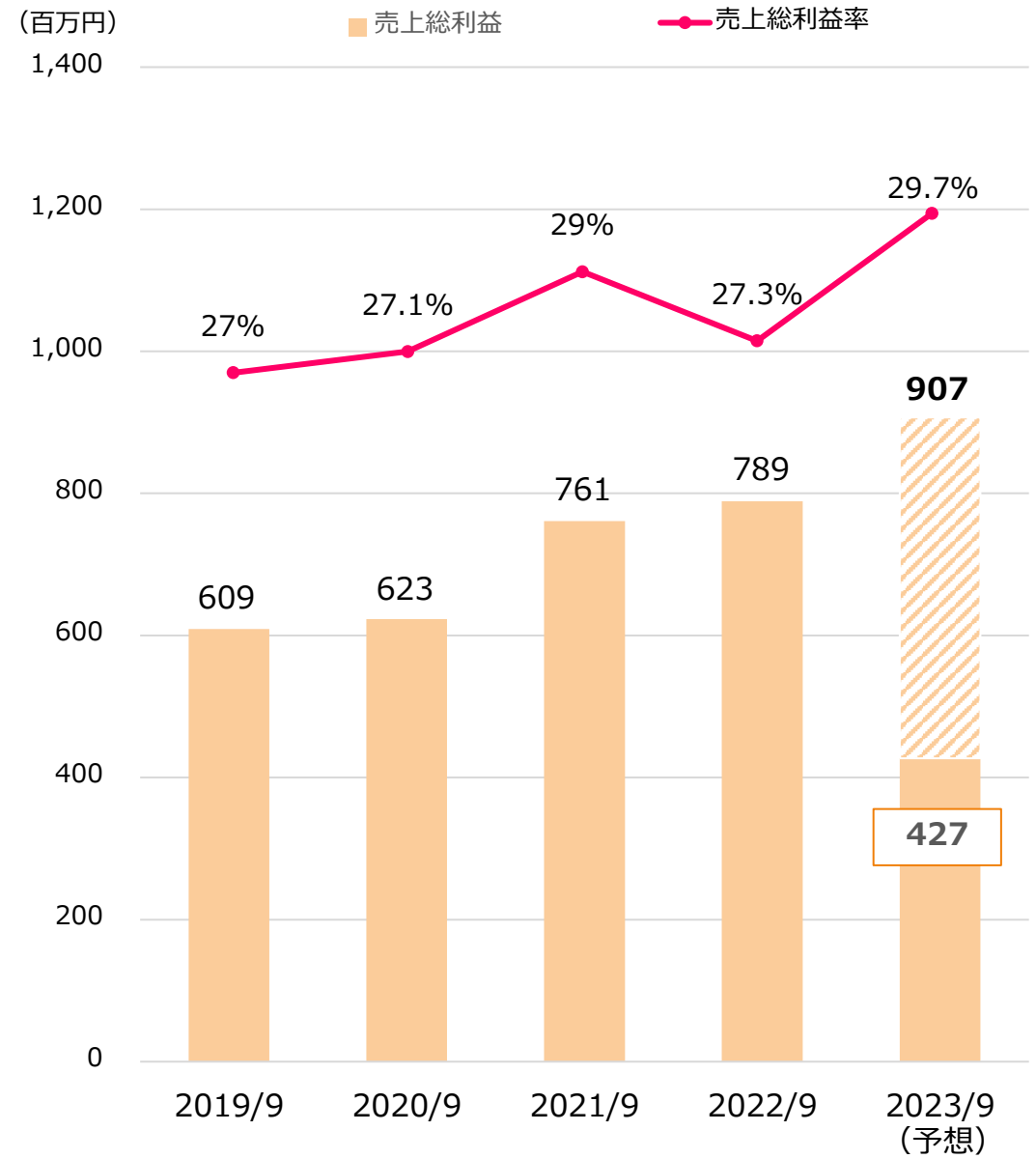
カテゴリー別状況（ガーデンエクステリア事業）

2020年5月の積水ハウス(株)との業務提携以降、売上・利益ともに着実に増加しています。

売上高



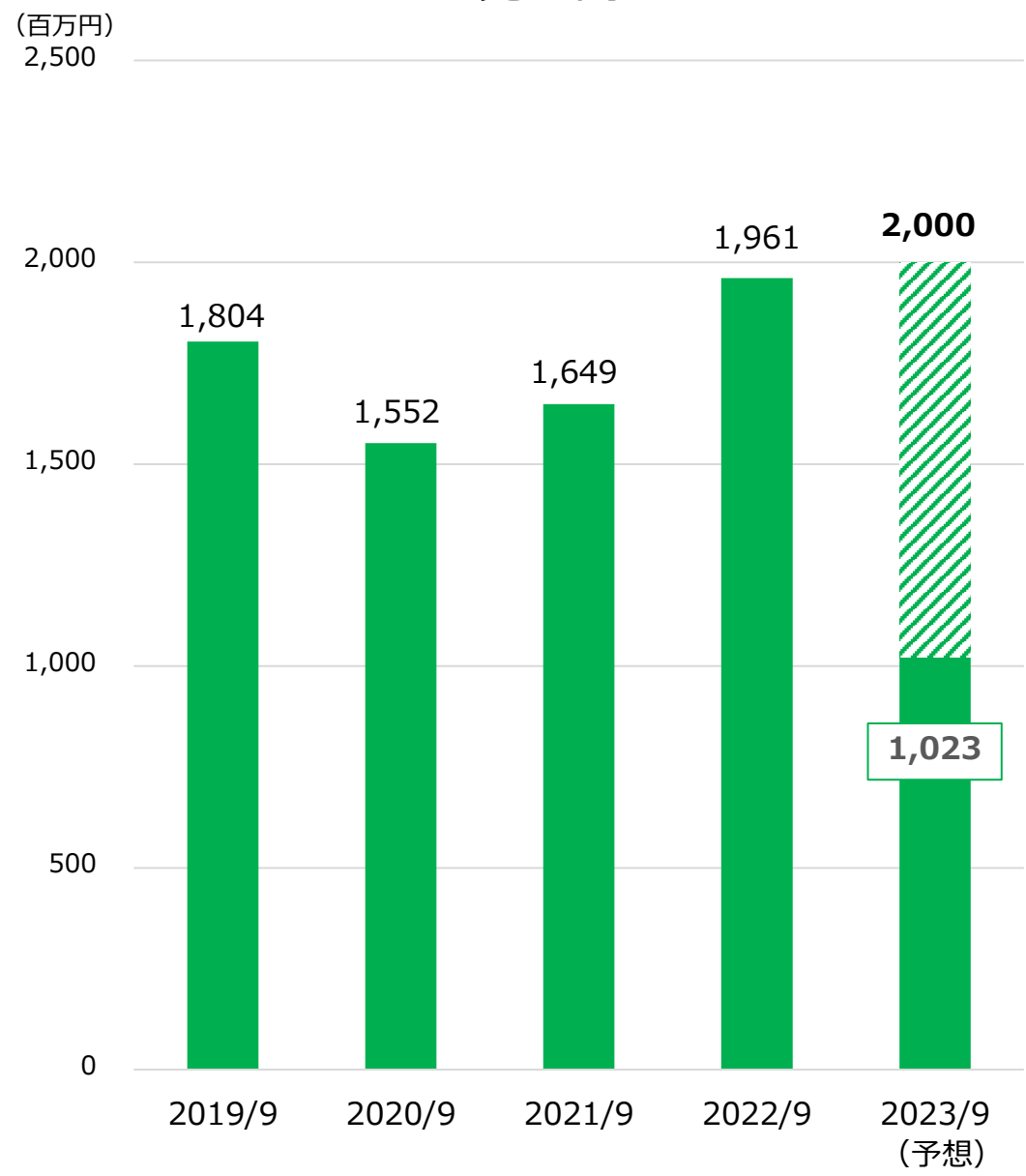
売上総利益



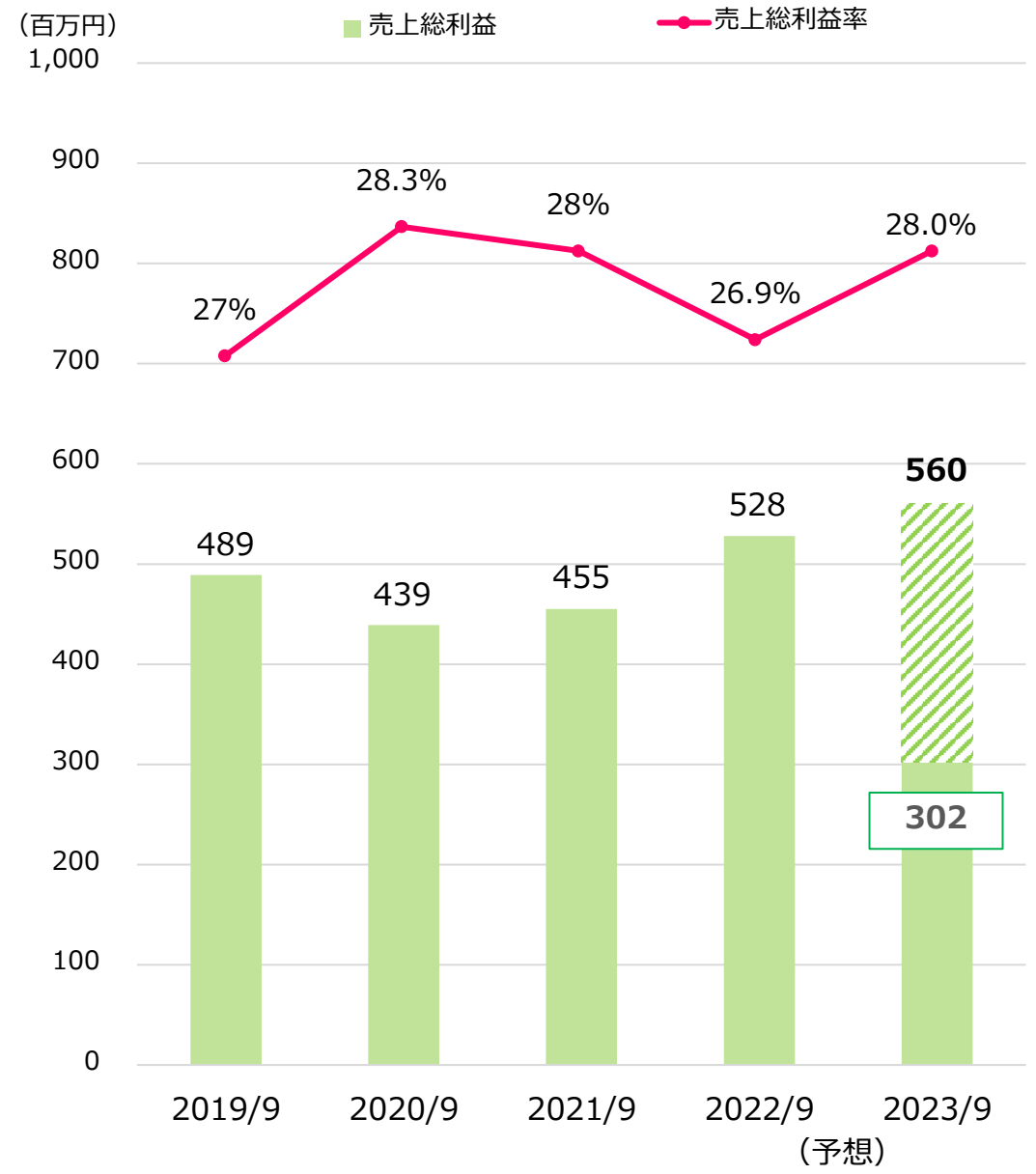
カテゴリー別状況（ランドスケープ事業）

「利益率の良い大型工事」の完工により、利益率が向上しています。

売上高



売上総利益



- ① 2023年9月期 第2四半期業績
- ② 主な取り組み と 今後の戦略
- ③ 株主還元

積水ハウス株式会社との資本関係強化（2023年2月）

資本関係強化について

2023年2月20日付で、当社の主要株主等より積水ハウス株式会社に対し、当社普通株式355,500株が市場外での相対取引により譲渡されました。

これにより積水ハウス株式会社は、当社普通株式20.47%を保有する主要株主である筆頭株主となり、資本関係が強化されました。

今後の展望

積水ハウス株式会社は、第6次中期経営計画の中で、四大都市圏（東京・大阪・愛知・福岡）における大規模な都市開発に注力することを計画しております。

当社においてもグループのシナジーを活かし、大型ランドスケープ案件や、大規模プロジェクトへの参画機会の増加が期待でき、さらなる事業拡大の大きなチャンスと捉えています。



積水ハウス仲井社長（左）と当社 小栗会長（積水ハウス本社にて）

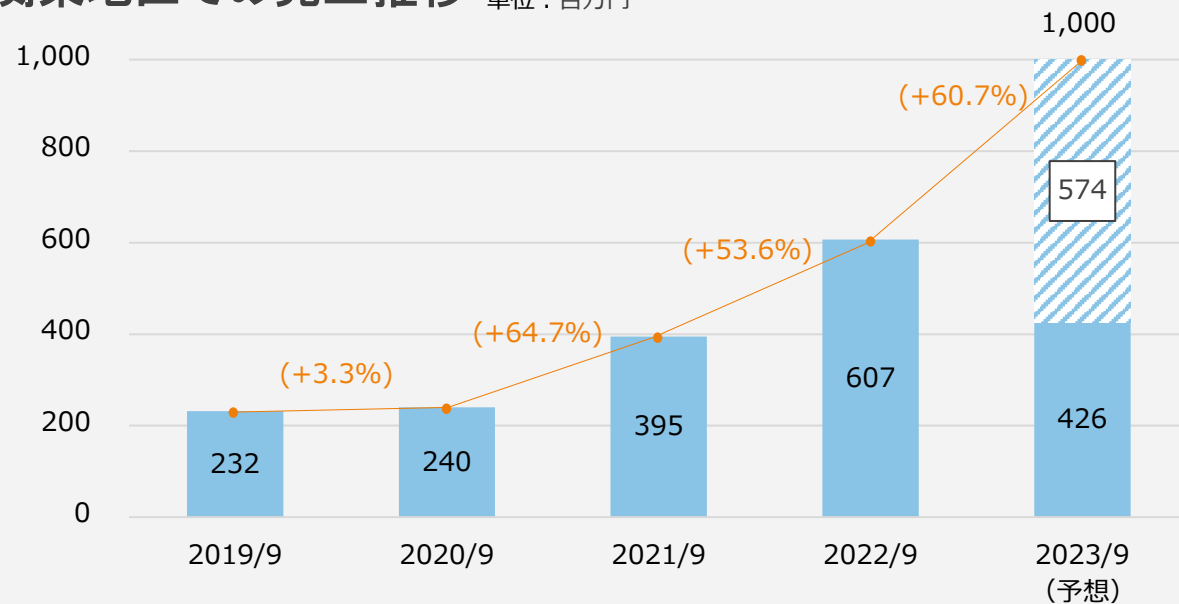
関東地区における事業拡大

東京営業所を「東京支店」に昇格(2022年8月)

首都圏を中心とした関東地区でのさらなる営業強化を図るため、東京都千代田区平河町にオフィスビルを購入し、2022年8月「東京支店」として新たな船出を切りました。

関東地区においては、当社の技術力を存分に発揮できる 再開発事業の大型ランドスケープ案件が多く、大手ゼネコンやハウスメーカーからの引き合いが多数入ってきており、このチャンスを活かすために東京支店の人員の増強、組織強化を図っています。

関東地区での売上推移 単位：百万円



人員の増強



2022年8月5日 東京支店開設式



海外事業 と PFI事業

海外事業

2018年に受注した中国青島での日本庭園などの設計監理業務は、新型コロナウイルスの影響で一時中断となっておりましたが、感染拡大の落ち着きもあり再開しております。

また、中国に加えカナダからも引き合いが入るなど、海外案件も復活してまいりました。

今後は、当社の日本庭園における匠の造園技術を発揮できる 海外での大型プロジェクトにも注力してまいります。

【中国 青島八景】



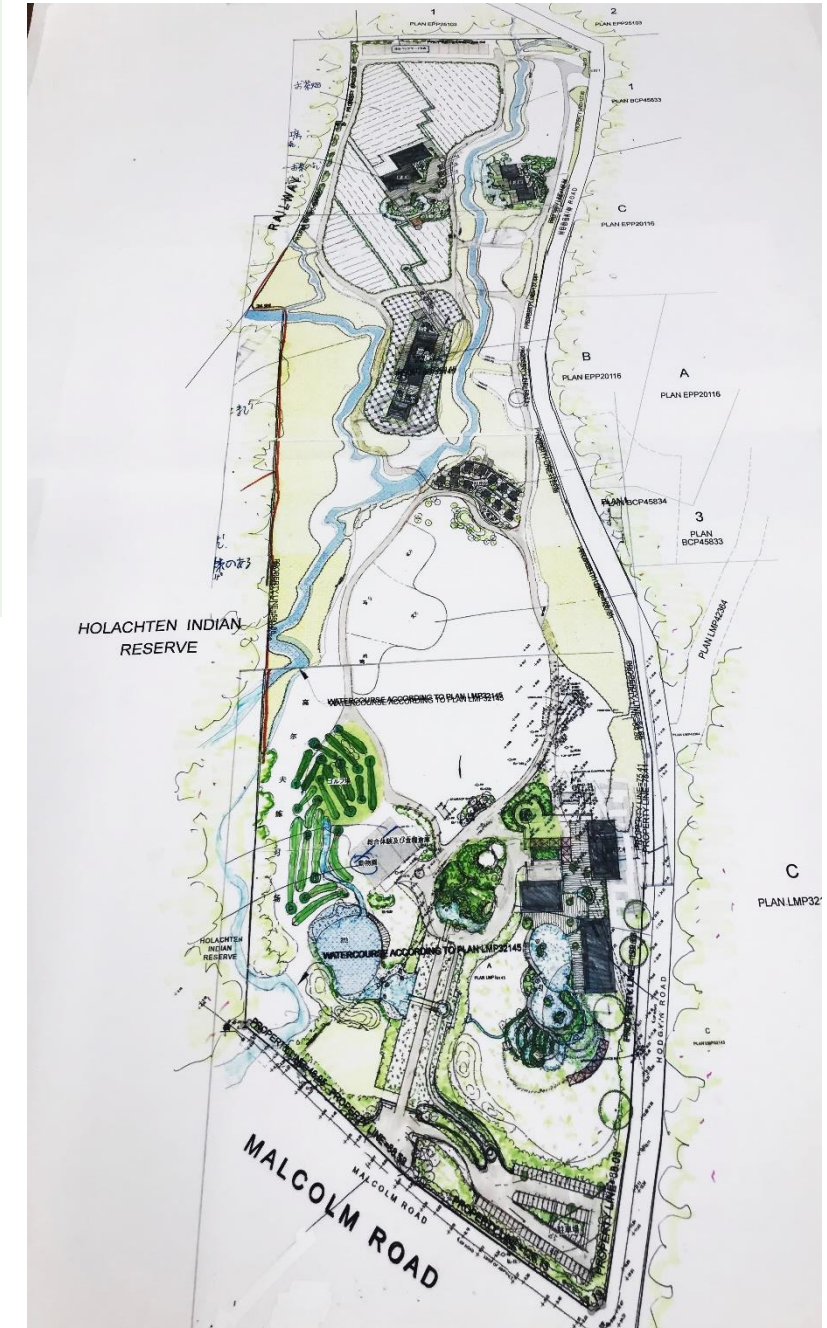
PFI事業

当社がこれまで培ってきた公園等の指定管理業務のノウハウを活かし、またすでに複数のPFI事業を受注している積水ハウス株式会社の協力も得て、PFI事業にも積極的に参画し、売上拡大を目指してまいります。

バンクーバー（カナダ）でのビッグプロジェクト

日本庭園の精神を取り入れた
大規模体験型農場ガーデンを計画しています。

エントランスゲートから奥行1,050m、東京ドーム約7個分に相当する広大な計画地。
当社は、これまでに広大なゴルフ場のプロジェクトをいくつも手掛けており、大胆な発想や自由な構成が出来る大規模プロジェクトを得意としています。計画に当たりその土地の歴史や価値、周辺の自然環境をさらに高めることを重要視しています。敷地内に鮭が遡上する小川が流れ、新緑や紅葉が美しいメイプルの森があるカナダらしい自然環境の中に、借景という日本庭園の手法を取り入れ、大滝の石組技術や繊細な造園技法を駆使したランドスケープを造り上げる計画をしています。



巨大石積み施工

地の利を活かした自然石の提案

当社の本社所在地である岐阜県では、関東地域でも良く使われる「恵那石」「美濃石」や「さざれ石」が、隣接する長野県では「志賀石」「鉄平石」などの色々な石材を採取することができます。当社はそれらの石材を直接調達することができる強いルートを持っており、さらにそれらの石材をどのようなプロジェクトに提案したら良いか、安全で経年美化を保つ施工方法等、自社に技術を持っていることが強みとなっております。

東京の超高級住宅の経年美化を極める

現在、東京の超高級住宅において高さ2m、延長70mの外周塀を岐阜の「恵那サビ御影石」で全面施工中です。140㎡の石積面積は写真のような巨岩を見るような迫力が生まれると同時に、時が経つほど自然石の深みが増していきます。

【巨大恵那石】



巨大石積み施工

志賀石の板状節理を再現した巨大石積プロジェクト

ニューヨークの石切場跡地にある公園の石積をイメージした巨大石壁を造り出すプロジェクトに、当社の提案した志賀石が採用され施工しております。志賀石の板状節理の岩肌を剥離させ、巨大石壁を創り出していく施工技術力を当社は持っており、今回の様な特殊な案件にも対応しています。

また、その他にも話題性の高い公園整備工事等でも大量の石積工事を行い、当社の匠の技術力をふんだんに発揮しております。

【志賀石の板上節理】



【ニューヨーク ティアドロップパークの巨大石積みモニュメント】



- ① 2023年9月期 第2四半期業績
- ② 主な取り組み と 今後の戦略
- ③ 株主還元

配当方針

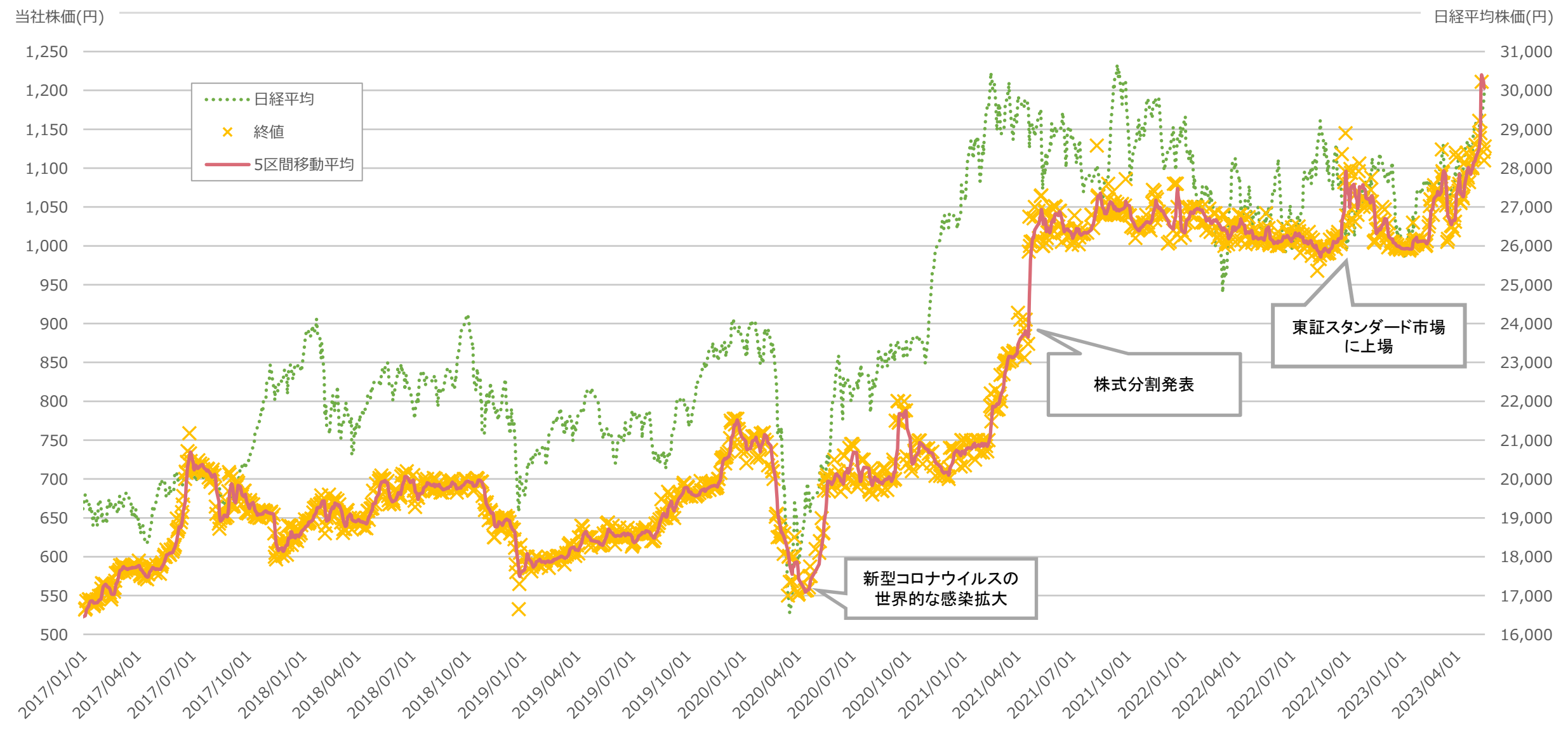
中長期的な安定配当の維持を基本方針としています。
配当性向については、25%から30%を目途として利益配分を行っていく方針です。

	2019/9	2020/9	2021/9	2022/9	2023/9 (予想)
一株あたり配当金	17.5円	17.5円	17.5	20円	25円
配当性向	29.2%	26.1%	25.3%	25.9%	27.8%

株主優待

9月決算期末現在の株主名簿に記載または記録された、当社普通株式2单元（200株）以上を保有されている株主を対象に、一律QUOカード1,000円分を贈呈します。

株価の推移



※ 2023年5月17日 現在

株価	PER(予)	PBR(実)	配当利回り(予)
1,128円	12.59倍	1.06倍	2.22%

配当政策	中間配当	期末配当	年間配当
2023年9月期 (予想)	15.0	10.0	25.0
2022年9月期	10.0	10.0	20.0

株式会社岐阜造園 I R 担当窓口

TEL 058 - 272 - 4121

ADDRESS ir@gifu-zohen.co.jp

ご視聴ありがとうございました。



◀ 参考資料 ▶

会社概要及び当社の強み

2023年3月31日現在

企業名	株式会社岐阜造園 (Gifu Landscape Architect Co.,LTD.)
代表者	代表取締役社長 山田 準
本社所在地	岐阜県岐阜市茜部菱野四丁目79-1
事業内容	造園緑化事業
創業(設立)	1927年3月(1966年1月)
決算期	9月
資本金	396百万円
従業員数	135名(連結) 110名(単体)
拠点	本社、東京支店、名古屋支店、大阪営業所 店舗(岐阜市、愛知県長久手市) 連結子会社(本社、他2拠点)
子会社	株式会社景匠館(100%)
建設業許可	国土交通大臣許可(特-24)第275号

全国で営業拠点とパインズ（展示場型店舗）を計8ヶ所展開しています。

大阪営業所
（株）景匠館（100% 連結子会社）
（大阪府大阪市淀川区）



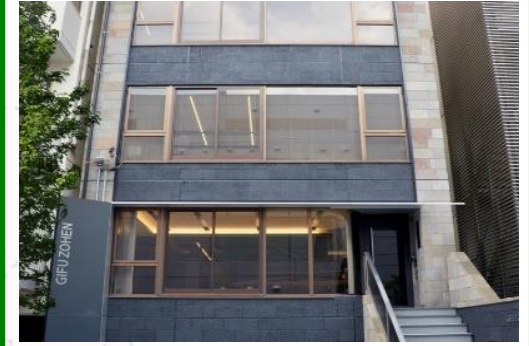
本社
（岐阜県岐阜市）



名古屋支店
（愛知県名古屋市西区）



東京支店
（東京都千代田区）



景匠館パインズ高松
（香川県高松市）



景匠館パインズ箕面
（大阪府箕面市）



パインズ岐阜
（岐阜県岐阜市）



パインズ長久手
（愛知県長久手市）



2023年3月31日現在

年 月	概 要
1927年 3月	創業者小栗弥一が岐阜市にて「植弥」を創業
1966年 1月	株式会社に改組 商号を「岐阜造園」へ
1998年 9月	名古屋市西区に名古屋支店を開設
2005年 1月	(株)景匠館（本社大阪市）の株式を取得し、子会社化
2016年 11月	<u>名古屋証券取引所市場第二部（現メイン市場）に株式上場</u>
2019年 3月	東京都千代田区に東京営業所を開設
2020年 5月	積水ハウス(株)と業務提携
2020年 8月	大阪市淀川区に大阪営業所を開設
2022年 8月	東京営業所を東京支店に昇格させる （千代田区平河町に自社ビル購入）
2022年 9月	<u>東京証券取引所スタンダード市場に株式上場</u>
2023年 2月	積水ハウス(株)との資本関係強化

岐阜造園の歴史

私たちが最も優先すべき品質基準・・・「その景色は、こころ打つか」

造園専門として

日本で唯一の上場企業です。

癒しと共生の時代

自然と共生し、持続可能な社会の実現を目指して、CO₂の削減や山林保全の観点から造園業が注目されるようになりました。「モノ」より「心」の充足を求める時代に変化しつつあります。

高度経済成長期

1966年に「岐阜造園」として法人化。日本経済の成長に伴い造園緑化事業の需要も大幅に増え、ゴルフ場造成や多種多様な大型プロジェクトに挑戦し、大きく飛躍しました。

今年で創業96年、歴史と共に培われた技術と精神が財産です。

創業期

27歳で修行を終え岐阜に戻った弥一は、1927年に「植弥」として造園業を始めます。創業後わずか2年で当時の金華山公園を岐阜公園として改修するなど、高い技術と挑戦心をもって創業しました。



七代目 小川治兵衛

技術的ルーツ

創業者の小栗弥一は、全国の植木屋で修行した後に、近代造園の権威と言われる京都の七代目「植治」小川治兵衛に弟子入りし、自然主義的日本庭園を学びました。

七代目「植治」の小川治兵衛は、明治中期から昭和初期にかけて多くの庭園を手がけ、日本の近代造園の成立に大きく貢献しました。

代表作：山縣有朋氏の無鄰菴
三井・住友・古川家 等

造園深耕 個人住宅から公共空間まで

ガーデンエクステリア事業・ランドスケープ事業ともにバランス良く受注できているのが特徴

ガーデンエクステリア事業

住宅の周辺環境が対象。
分譲地の計画などを通じて、
街並みづくりにも携わる。

住空間（個人邸）



外構



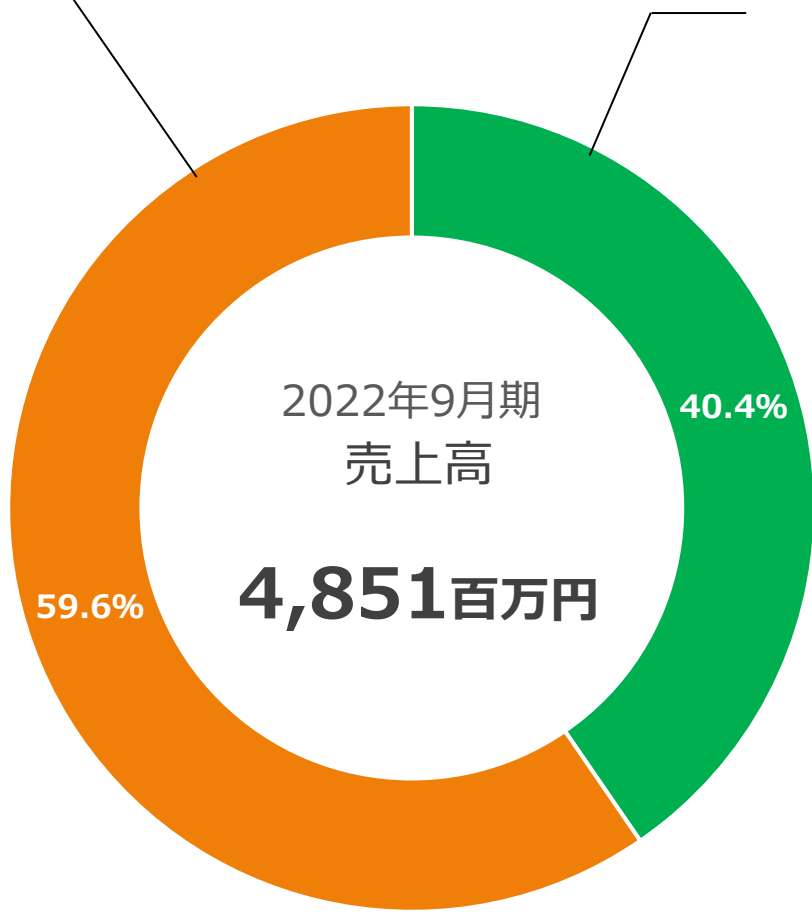
庭園



コミュニティ



分譲地



ランドスケープ事業

パブリックスペースの景観が対象。
伝統的な造園技法を要するものや
屋上や壁面などの特殊な緑化まで
工事の内容は多岐にわたる。

都市景観・公共施設



公園

商業・企業施設



ショッピングモール

リゾート・レジャー



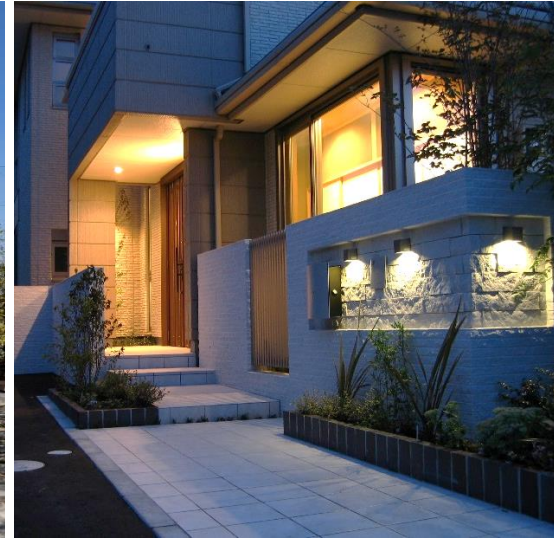
リゾートホテル

医療・介護

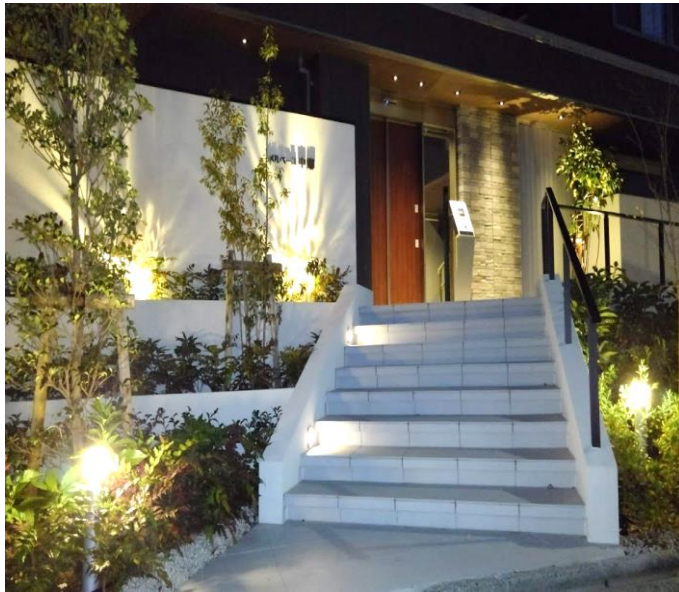


高齢者施設

施工実績 (ガーデンエクステリア部門)



展示場型店舗
(パインズ岐阜・長久手)



施工実績 (ランドスケープ部門)



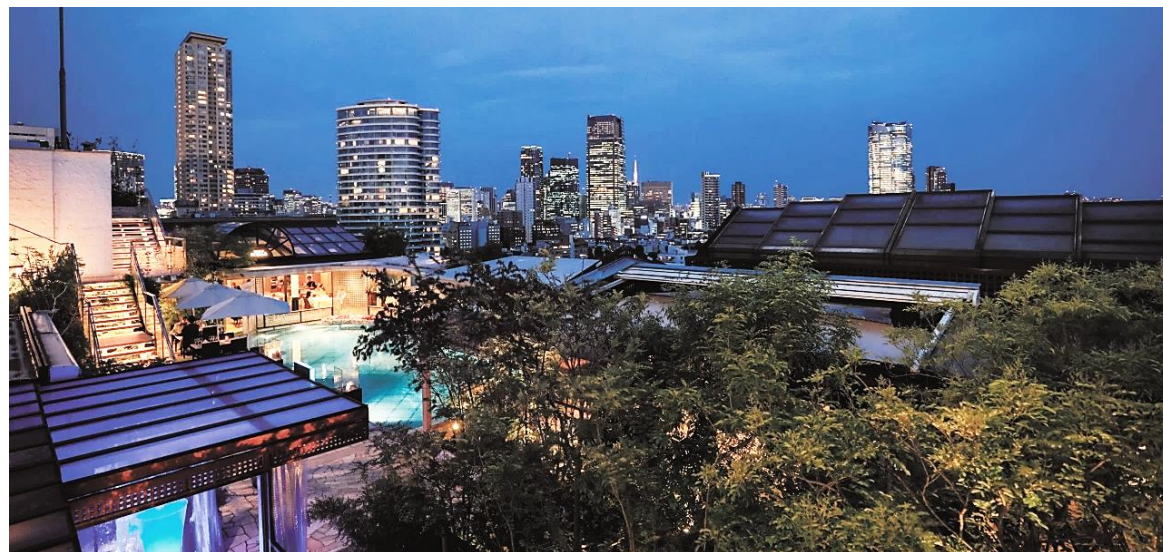
エクシブ鳥羽別邸



エクシブ箱根離宮



東京ベイコート倶楽部



青山ラピュタガーデン

ゆたかな暮らしを 創造する



資産価値

うるおい

が高まる

が生まれる

美しさ

自己治癒力

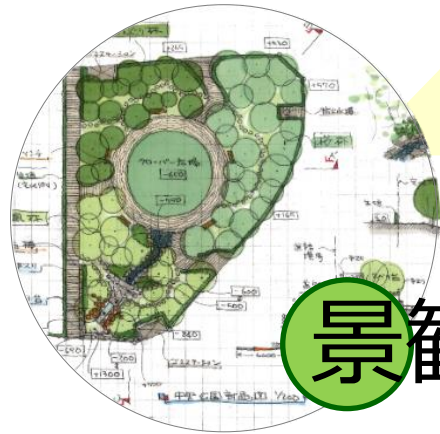
安全性

ガーデンセラピー

機能性

心と体を
健康に

NK細胞の活性化
人間の免疫力の向上



景観を

緑を育む

庭をつくる

デザインする

温室効果ガス削減
地球環境の保全と復元

二酸化炭素を吸収
→酸素を放出

カーボンニュートラル

SDGs

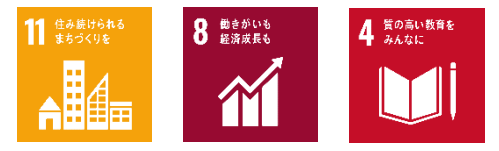
SDGsへの取り組み・CSR活動

持続可能な社会の実現を目指し、緑化事業を通して地球環境の保全と復元に貢献します。

SDGs行動宣言



屋上緑化や壁面緑化などの造園事業を通じて地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収し、温暖化抑制の取り組みをしています。



地方自治体と協定を結び「企業との協働による森林づくり」活動を推進。国土緑化推進機構理事長賞やビオトープ大賞グランプリを獲得しました。



若年層の社員育成と高齢者活用により、人材確保に努めていきます。

CSR活動

岐阜県御嵩町と協働の里山保全活動を10年以上継続中。里山は、間伐などの手入れが加わることで木々の成長が促進され、下草や野生生物などの生態系も多様になります。また、土砂の流出を抑え、自然災害の抑制にも繋がります。



当社の強み 「職人型現場力」



弊社の現場監督は、いざとなればスコップを持ったり、重機を操縦することができる職人集団です。デザイナーも実際に樹木の植栽や工程管理の経験を経た植物生態のプロフェッショナルです。

当社の強み 「技能の伝承」

岐阜造園の社員は、作業員ではなく **付加価値のつけられるマイスター職人**です。

作業員と職人の違いは「主体性」の有無と考えています。

主体性

- ・ **設計者の意図を汲み取り、それを表現**

図面の通りに作っても、一つとして同じものがないのが造園です。設計の意図を表現することが重要な要素です。

- ・ **プラスアルファの成果を上げる**

設計の意図に加えて、より良いものを作ろうとする意志が主体性です。付加価値の高い成果を上げてこそ1人前の職人です。

岐阜造園は「人材の採用と育成」に注力しています。

2022年4月に**岐阜造園アカデミー**を設立し、職人世界に多い見て覚える教育ではなく、技術解説などの動画による学習で、インプットとアウトプットを効率的に実践し、人材育成の早期化を図っています。

当社の強み 「計画から運営まで自社で一貫」

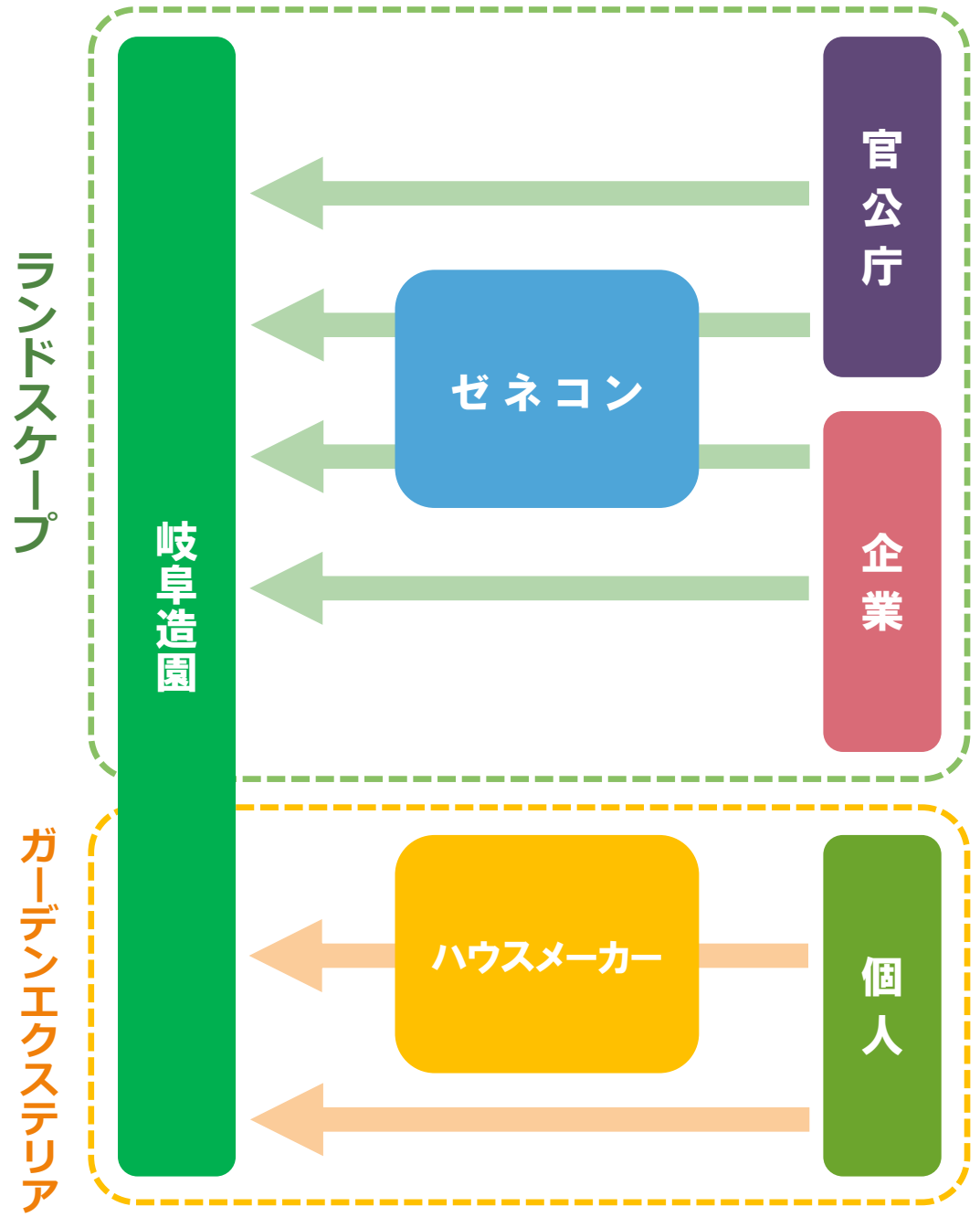
一貫するメリット

- 顧客にとって トータルの効率アップ、要望に柔軟に対応できる→安心につながる
- 岐阜造園にとって
 - ・ 他社に丸投げしないため、自社に技術・ノウハウが残る
 - ・ 世代を越えた長期的なリピート受注に繋がる

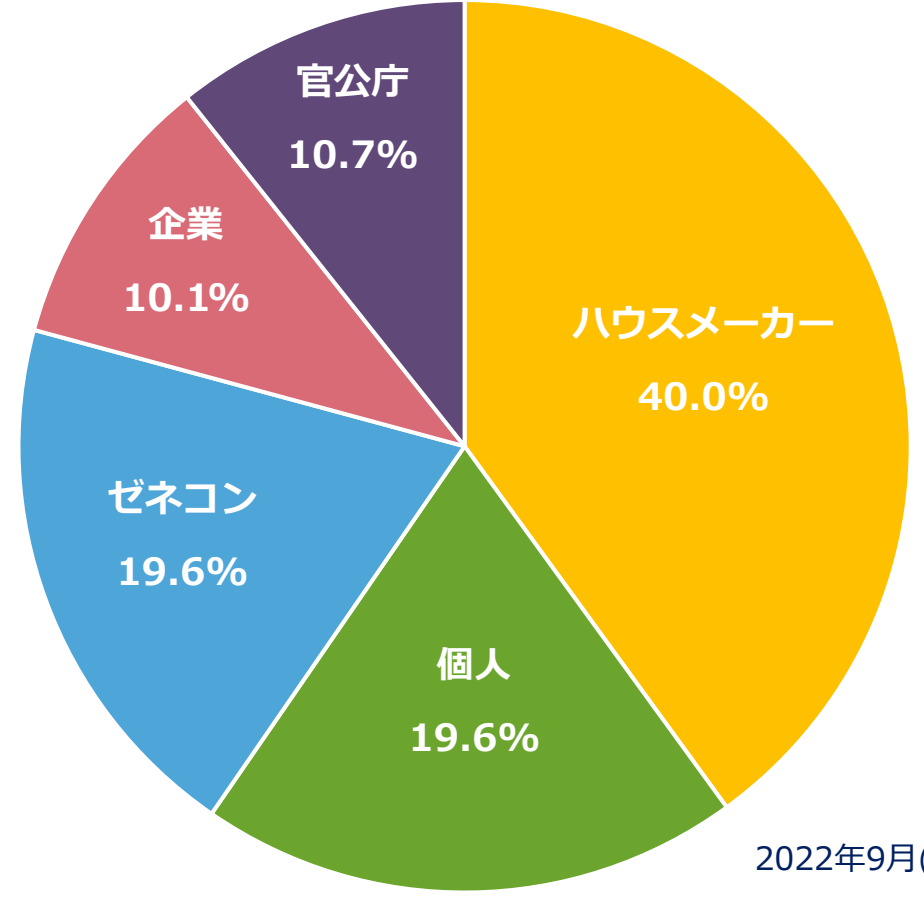


当社の強み 「様々なルートからサービスを提供」

サービス提供の流れ



売上構成比



2022年9月(57期)末時点

- ・元請、下請の双方で利益を出している。
- ・ランドスケープ、ガーデンエクステリアの両輪でバランスよく受注する方針

《 参考資料 》

2023年9月期以降の 大型プロジェクト及び最近の主な施工事例

福岡大名プロジェクト (ザ・リッツカールトン福岡)

福岡市の新たなランドマークとなる「天神ビッグバン」プロジェクト。





復興の象徴の森としてのランドスケープアイデアの提案

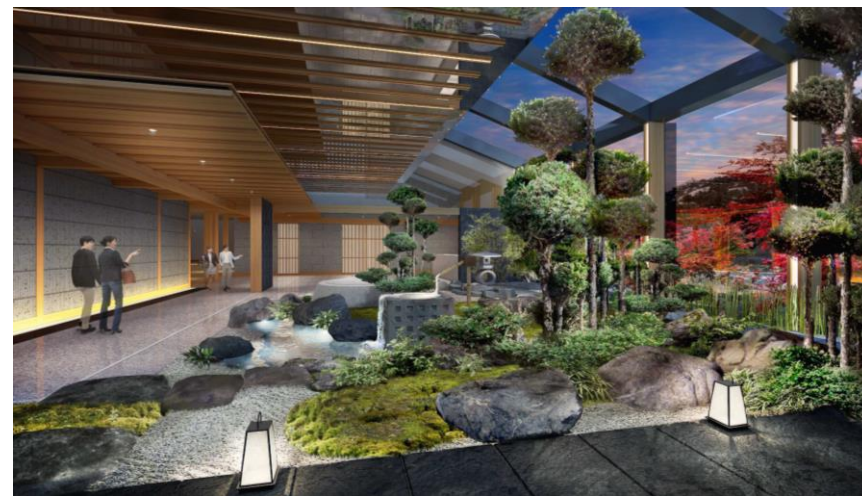
人が集まるマルシェといったイベントスペース
樹木で木陰や季節感をつくり、居心地の良い空間づくり



コモンステージミラまち（豊橋FACEプロジェクト）

積水ハウスが開発する27万㎡の大規模住宅団地（ショッピングモール・医療施設・400戸の住宅・公園施設）。

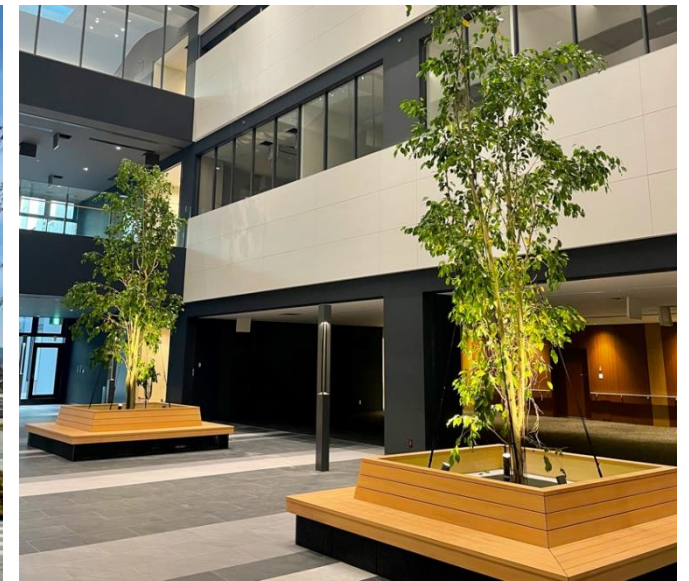






中部国際医療センター

岐阜県美濃加茂市のメディカルシティ構想と一体となった緑あふれる大型医療拠点が誕生しました。



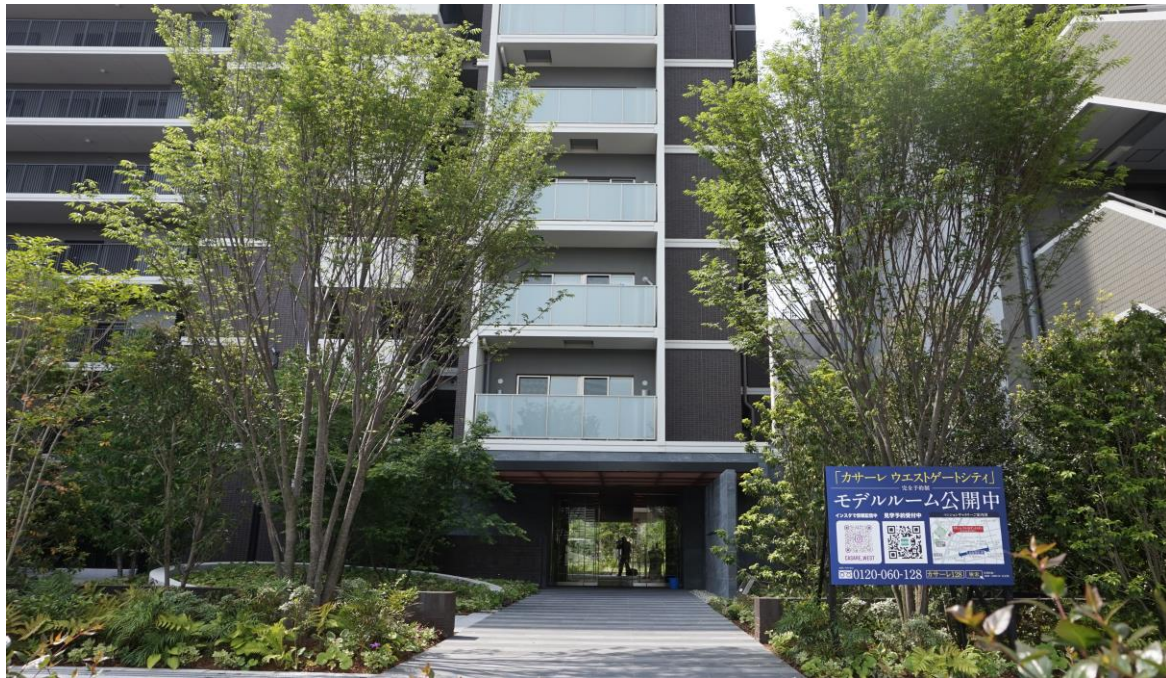
岐阜県庁「ぎふ結のもり」公園

「人と人、人と自然を結び、生かし、つなぐ」をコンセプトに、公園全体で岐阜県の自然を表現しています。



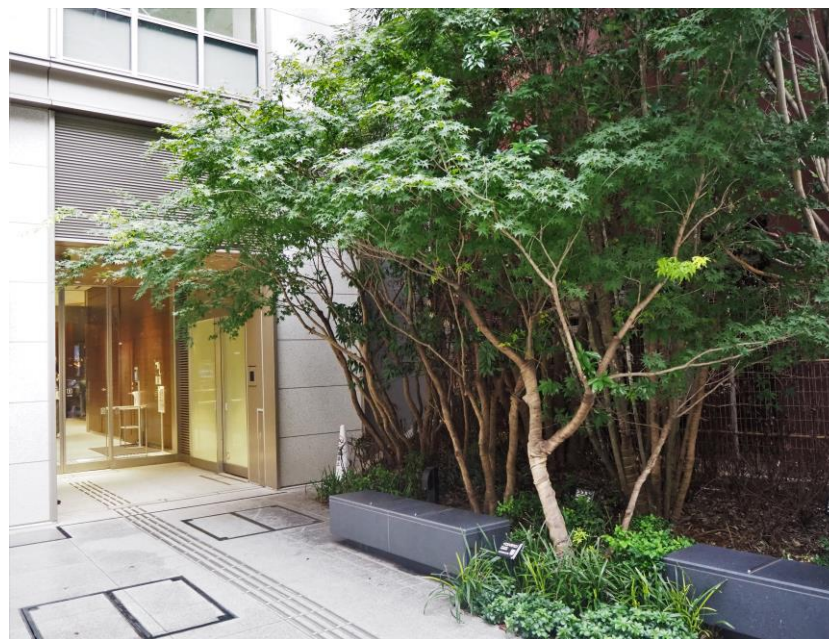
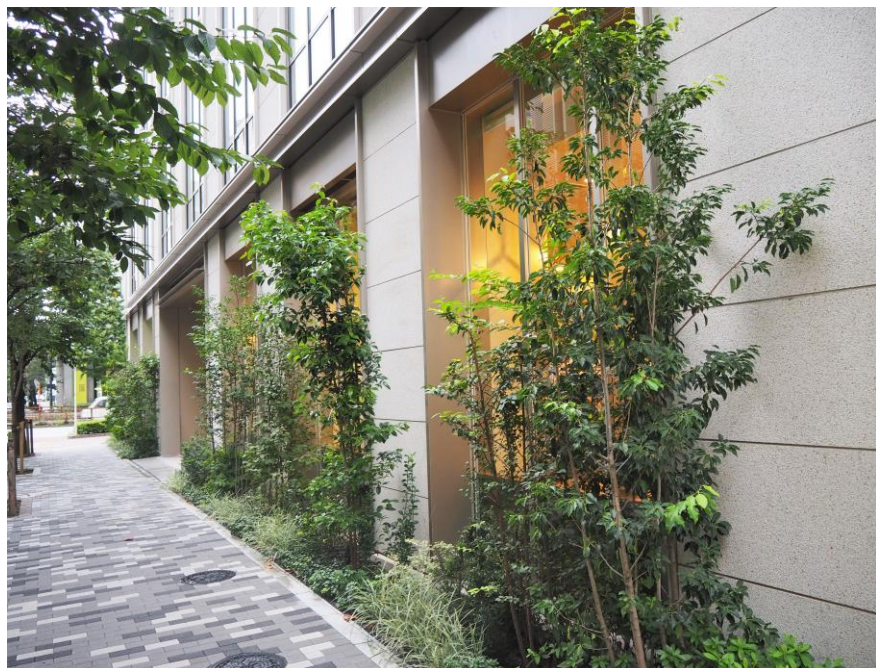
カサーレウエストゲートシティ

季節ごとの彩りを楽しめる100種類もの草花・樹木を植栽し、豊かな緑と開放感を演出しています。



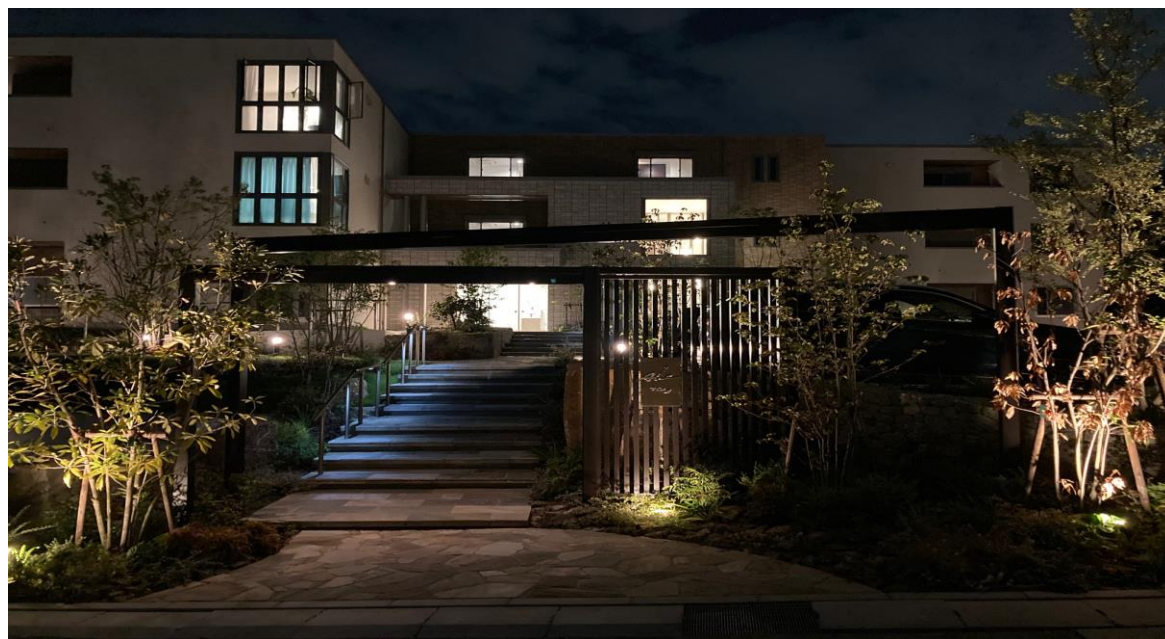
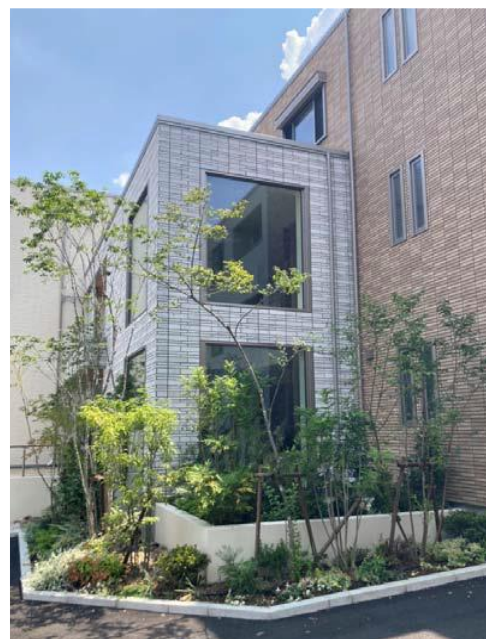
日本橋三丁目スクエア

ビルの周囲を樹木で囲み、1階ラウンジからはまるで森の中にいるような癒やしの空間を提供しています。



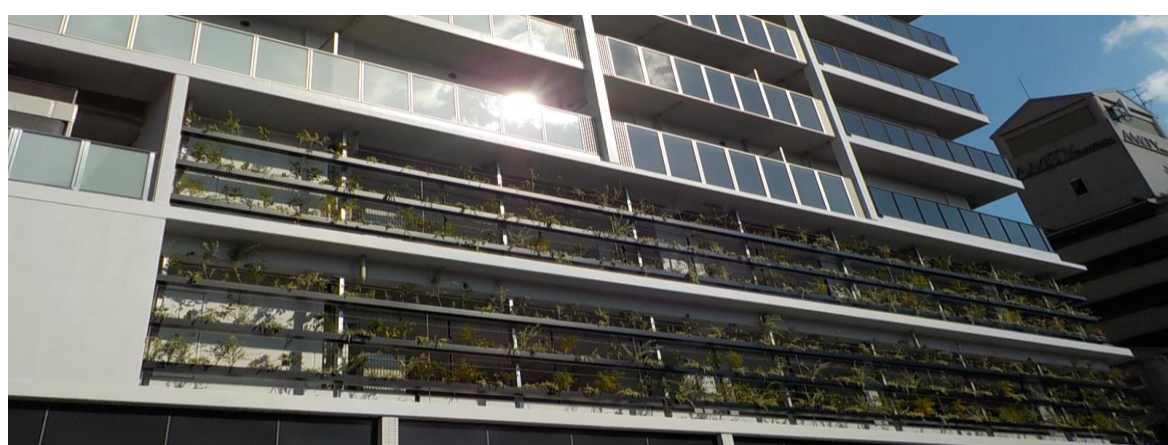
積水ハウス シャーメゾン賃貸住宅

高低差3mの玄関アプローチが印象的な 積水ハウスのワンランク上のシャーメゾン賃貸住宅です。



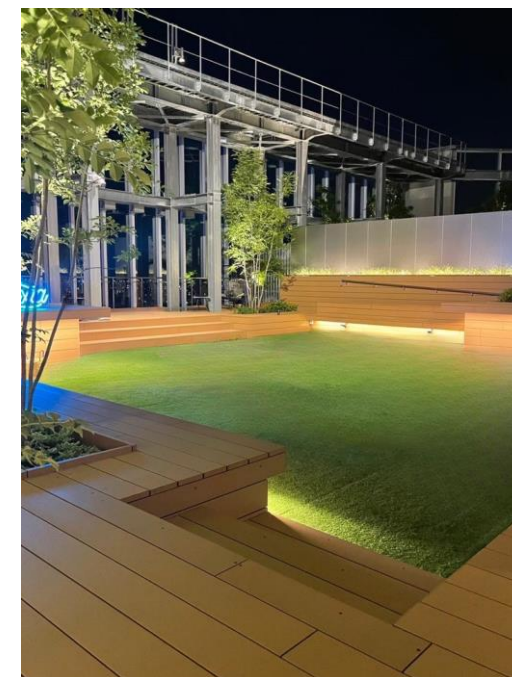
塚口さんさんタウン

「木漏れ日ウォーク 塚口の散歩道」をコンセプトに、街路樹と融合した日差しを和らげる壁面緑化を施しました。



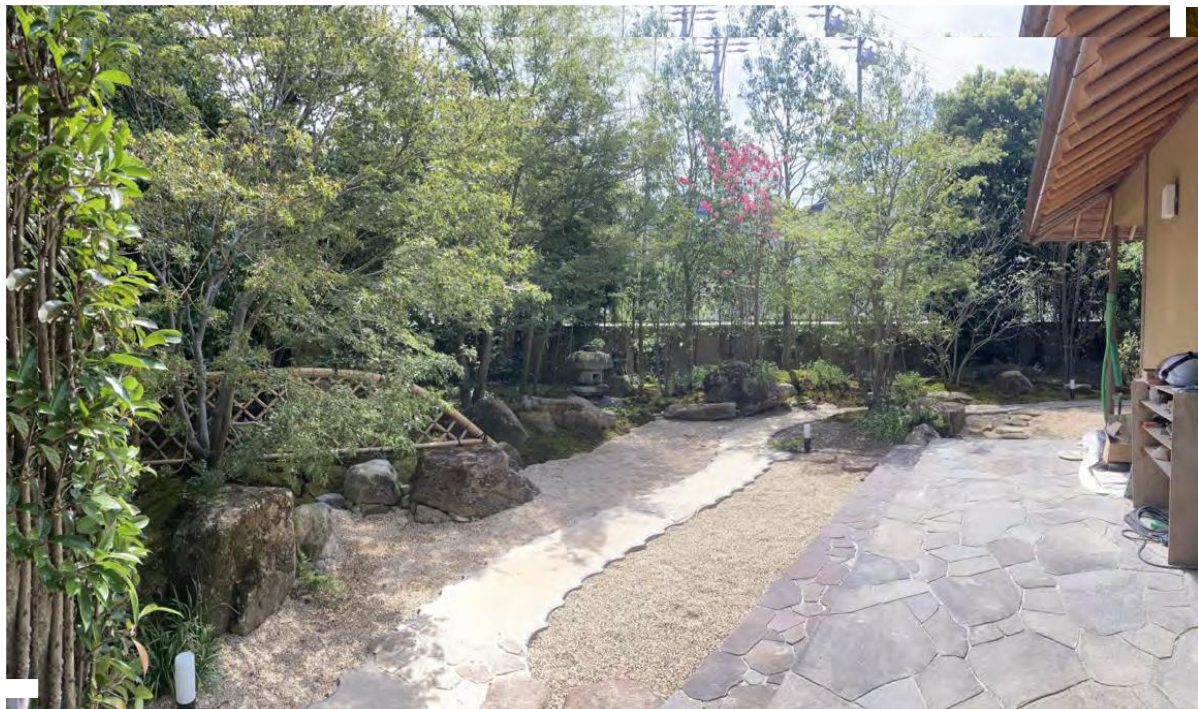
アーバンネット名古屋ネクスタビル

スカイテラスなどに多くの樹木を植栽し、人々が自由に交流できる、安らぎと潤いの空間を演出しています。



個人邸 高級外構工事

ランドスケープとガーデンエクステリアを融合させた新しい自然節理の美を表現した高級外構を多数施工しています。



株式会社岐阜造園 I R担当窓口

TEL 058 - 272 - 4121

ADDRESS ir@gifu-zohen.co.jp

